

政策分野	004	産業	政策項目	004	雇用環境	施策	001	雇用環境づくりの推進	担当課	商工観光課・労働グループ
番号	計画事業名							区分	事業開始年度	事業終了年度
108	雇用の確保と労働環境の向上を図ります。							充実	令和5年度	令和12年度

	指標項目	基準値(R3)	前期(R8) 目標値	後期(R12) 目標値	年度ごとの実績値				達成率	指標設定の考え方
					令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
活動指標	I 通年雇用化セミナー等開催回数 (単位:回)	4	4	4	1	2	0		0%	I 通年雇用化セミナー等 (年4回) 開催
	II 就職前職業ガイダンス開催回数 (単位:回)	1	1	1	1	1	1		100%	II 就職前職業ガイダンス (年1回) 開催
成果指標	I 通年雇用化人数 (単位:名)	4	3	3	3	5	0		0%	I 通年雇用化目標人数 (年4名)
	II 就職前職業ガイダンス参加企業数 (単位:社)	-	16	16	14	17	18		113%	II 就職前職業ガイダンス参加企業数 (各年度16社)

【担当課評価】

項目	事業把握
主な事業実績	企業が栗山高校の学生を対象に自社の魅力を発信し、地元企業や産業・職場への理解を深めてもらうことを目的とした就職前職業ガイダンスを開催。令和6年度より1社増の18社の企業がブースを設け、1年生から3年生までの計93名の生徒が参加した。また、南空知通年雇用促進協議会による通年雇用化に向けた取組により、令和6年度は構成4町全体で5名の季節労働者の方が通年雇用となり、うち本町においては1名の方が通年雇用に結びついた。企業向け通年雇用化セミナーについては11月の開催を予定している。
施策の分析 (目標達成・未達成に関する要因分析)	令和7年3月の卒業生のうち1名が就職前職業ガイダンス参加企業に就職。ガイダンスを通じて地元企業への理解を深めることは、学生が地元での就職を進路の選択肢の一つとして考えるきっかけづくりとして非常に有効である。また、南空知通年雇用促進協議会では、企業訪問や通年雇用化セミナー、資格取得に対する費用助成など、企業や季節労働者に対する通年雇用化のための積極的な支援を行っており、毎年平均5名程度の方が通年雇用に結びついている。
課題・問題点	就職前職業ガイダンスについては、さらに参加企業を増やすため商工会議所と連携して周知・PRに取り組むほか、生徒がより地元企業への理解・関心を深められるよう、来年度に向けて実施方法について協議・検討を行っていく。また、南空知通年雇用促進協議会については、季節労働者の高齢化や働き方への意識の変化も影響し、協議会設立当時と比べ季節労働者の数も大きく減少していることから、今後の事業展開や協議会のあり方について構成町及び関係機関との協議を行う必要がある。

今後の展開・方向性 (国・道の動向や住民ニーズ等も踏まえ、重点的・優先的に取り組む施策等)	就職前職業ガイダンスについては、令和6年度参加企業のうち1社に1名の生徒が就職しており、ガイダンス参加が就職先を考える上での一つのきっかけとなったことが予想される。今後も参加企業を増やすための積極的な働きかけと、より効果的な実施方法についても検討を行っていく。また、通年雇用化セミナーについては、通年雇用化に意欲的な企業のニーズを踏まえた研修内容とし、通年化に向けた企業の取組を一層支援していく。
--	--

【総合評価】

区分	評価内容・指示事項
1次評価 (担当課長)	①計画通りに進める 本事業は、進路担当教諭との連携を深め、より本町及び周辺市町の企業実態等の把握に努めること。また、通年雇用対策については、引き続き、通年化に向けた企業の取組について、ニーズ把握を行い支援を継続すること。
2次評価 (副町長)	①計画通りに進める 一次評価結果に加え、隔年で実施している雇用実態調査については実施年度の見直しや、調査結果の活用内容が伝わるような情報発信方法を検討すること。
外部評価	※評価対象外
最終評価 (町長)	①計画通りに進める 二次評価のとおり。

政策分野	004	産業	政策項目	004	雇用環境	施策	002	公共施設長寿命化	担当課	商工観光課・労働グループ
番号	計画事業名							区分	事業開始年度	事業終了年度
109	勤労者福祉センターの長寿命化を図ります。							継続	令和5年度	令和12年度

	指標項目	基準値(R3)	前期(R8) 目標値	後期(R12) 目標値	年度ごとの実績値				達成率	指標設定の考え方
					令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
活動 指標	I 施設改修数	-	1	1	2	0	0		0%	I 施設改修工事数を設定
成果 指標	I 施設改修の進捗率	-	100	100	100	0	0		0%	I 施設改修の進捗率を設定

【担当課評価】

項目	事業把握
主な事業実績	令和7年度は9月末時点において施設改修の実績はなし。
施策の分析 (目標達成・未達成に関する要因分析)	令和7年度は施設改修の予定はなし。
課題・問題点	本施設は建築から50年以上が経過し、指定管理者による適切な管理は行われているものの、老朽化は著しく、今後の施設管理への影響が懸念される状況にある。施設躯体に関わる大規模改修のタイミングについては、今後の施設の在り方を含め、関係課とも協議の上慎重に検討していく必要がある。

今後の展開・方向性 (国・道の動向や住民ニーズ等も踏まえ、重点的・優先的に取り組む施策等)	本施設は老朽化はしているが指定管理者の日常の適切な維持管理により館内は常に清潔に保たれ、多くの団体・サークル等に利用されている。老朽化が著しい施設をどのように維持していくのか、大規模改修の時期や今後の施設の在り方について慎重な判断が必要となる。
--	--

【総合評価】

区分	評価内容・指示事項
1次評価 (担当課長)	①計画通りに進める 当施設は老朽化はしているものの、常に清潔に保たれ、利用者からの満足度も高い状況である。引き続き、利用者目線に立った施設管理を指定管理者とともに協議・連携し努めること。また、躯体に関係する施設修繕内容については、建設課と情報共有に努めること。
2次評価 (副町長)	※評価対象外
外部評価	※評価対象外
最終評価 (町長)	※評価対象外